

2014 年度 認知神経リハビリテーション ベーシックコース(東京 2) プログラム

1 日目 2014 年 9 月 13 日(土)

11:30-12:00	1 日目受付	
12:00-12:50	講義 1 認知運動療法の「道具」 行為を学習する基礎	鶴埜
13:05-13:50	実技 1	
13:50-14:35	実技 2	
14:45-15:30	実技 3	
15:30-16:15	実技 4	
16:25-17:10	実技 5	
17:10-17:55	実技 6	
18:10-18:30	まとめ	

2 日目 2014 年 9 月 14 日(日)

08:30-09:00	2 日目受付	
09:00-09:45	講義 2 認知運動療法の基礎の要点	宮本
09:45-10:30	講義 3 認知運動療法と脳科学の要点	徳原
10:40-11:25	講義 4 認知運動療法と神経現象学や教育学などの要点	光藤
11:25-12:10	講義 5 認知運動療法の病態の考え方の要点 特異的な運動の異常要素	村上
12:10-13:10	昼休憩	
13:10-13:55	講義 6 どのように動くかと規定された運動 行為の三人称観察	安田
13:55-14:40	講義 7 プロフィール 行為の一人称観察	光藤
14:50-15:35	講義 8 改善の予測要素と改善予測 教育の思考	三上
15:35-16:20	講義 9 訓練の組織化 行為の運動学習	徳原
16:30-17:15	講義 10 認知運動療法の臨床	鶴埜
17:15-18:00	講義 11 認知運動療法 (E T C) から行為間比較 (C T A) へ	宮本
18:00-18:15	まとめ	

3 日目 2014 年 9 月 15 日(月)

08:30-09:00	3 日目受付	
09:00-09:45	実技 7	
09:45-10:30	実技 8	
10:40-11:25	実技 9	
11:25-12:10	実技 10	
12:10-13:00	昼休憩	
13:00-13:45	講義 12 失行症を呈する者への認知運動療法	光藤
13:45-14:30	講義 13 半側空間無視を呈する者への認知運動療法	徳原
14:40-15:25	講義 14 失語症を呈する者への認知運動療法	鶴埜
15:25-16:10	講義 15 子どもの運動統合障害に対する認知運動療法	宮本
16:10-16:20	まとめ	
16:20-16:30	質疑応答	

実技（以下、順不同で基本的な道具の特性を理解し、実際の観察と訓練を経験）

1. P T、O T向け

- 上肢：リーチ動作の行為
 - 到達のコンポーネント1：タブレットのマス位置
 - 到達のコンポーネント2：円軌道
 - アプローチのコンポーネント：ポンテとラルケット
 - 把持、操作のコンポーネント：表面素材とレーゴリ
- 下肢：歩行の行為
 - 支持、到達のコンポーネント1：臥位で行われる下肢の訓練
 - 支持、到達のコンポーネント2：坐位での前後方向の傾斜板
 - 支持、到達のコンポーネント3：坐位での足底下の不安定板
 - 推進、緩衝のコンポーネント：立位での踵下のスポンジ
- 体幹：上下肢の行為の基礎として
 - 垂直性のコンポーネント：坐位での側方からのスポンジ
 - 支持性のコンポーネント：坐位での殿部下の不安定板

2. S T向け（希望者が30名を超えた場合に実施）

- 失語症者への観察と訓練のための絵カード
- 失行症者への訓練とプロトコールに基づく観察
- 口唇、口腔内の識別課題